

かすかべ KASUKABE 議会だより

2010(平成22)年2月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・議会だより編集委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第18号



春日部情報発信館

謹んで新春のお喜びを申し上げます

春日部市議会議員一同



		議長	副議長	議員																													
		河井	鳴島	鬼丸	岩谷	滝澤	秋山	村松	卯月	白土	阿部	栄部	蛭間	片山	松本	福田	会田	川鍋	山崎	鈴木	内田	竹内	武内	五十嵐	富樫	野口	山口	石川	阿部	小島	栗原	中山	大川
(議席番号順)		美久	武久	裕史	一弘	裕一	文和	君彦	武彦	幸仁	真理	康次	靖造	浩一	浩一	晃一	晃一	晃一	晃一	晃一	晃一	正勝	幹元	みどり	清年	浩昭	勝保	喜一	文男	信司	利夫	利夫	

主な内容

- 主な議案の紹介…………… 2～4 ページ
- 審議結果…………… 4～5 ページ
- 一般質問…………… 6～14 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 14～15 ページ
- 傍聴して一言…………… 16 ページ

平成22年1月1日現在
人口 240,672
男 120,196
女 120,476
世帯数 97,884



パンジー

自治基本条例の制定、一般職の任期付職員 の採用等に関する条例の制定、指定管理者の指定、 市議会の議員の定数を定める条例の制定を可決

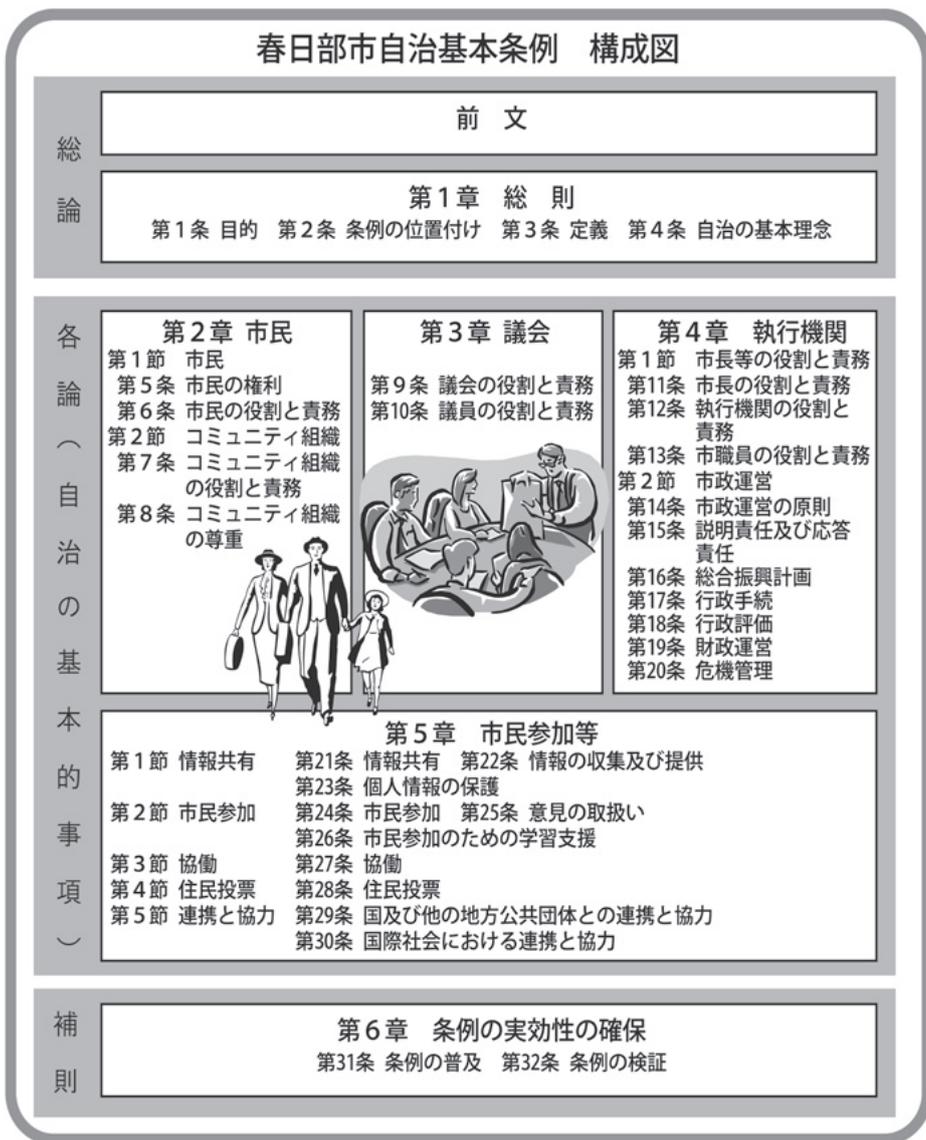
自治基本条例の 制定を可決

この条例は、自治の基本理念を明らかにし、本市のまちづくりの主体である市民、議会、執行機関のそれぞれの役割と責務等、自治の基本ルールを定めたものであり、自治の推進における最高規範となるものです。

制定に当たっては、地区説明会や市民意見提出手続等を実施し、市民の皆様の意見を反映した条例となっています。これまでも市民参加によるまちづくりを推進してきましたが、これからは本条例に基づき、市民の皆様と共に考え、共に協力し、共に行動して、まちづくりを推進していきます。

【全員一致で原案可決】

春日部市自治基本条例 構成図



討論

市民から見直しの必要があると判断された際に、必要な措置を取ることを求め賛成(無所属)

本条例の制定が、市民自治の進展に大きな役割を果たすことは期待できます。また、本条例が、市民参加のもとに

策定が進められたことには、一定の評価をします。

しかし、策定期間が十分とはいえなかったためか、市民参加の基本である決定段階までの市民参加が、十分保障されたとはいえないという印象が残ったことは残念です。

今後は、広く市民に本条例の周知を図り、要望があった際には、見直しを行うことを求め、賛成します。

一般職の任期付職員 の採用等に関する 条例の制定を可決

地方公共団体の一般職の任期付職員を採用に関する法律に基づき、複雑高度化する行政課題や緊急の課題に速やかに対応するため、任期を定めた職員の採用を可能とする条例を制定するものです。

主な内容は、高度の専門的知識経験または優れた識見を有する者を、一定期間活用することが特に必要な場合や、専門的知識経験を有する者を、期間を限って業務に従事させることが公務の能率的な運営を推進するために必要な場合に、それぞれ5年を上限に任用を可能とするものです。

さらに、一定期間内に終了

することが見込まれる業務、または一定期間内に限り増加が見込まれる業務に従事する場合、並びに市民に対するサービスの提供時間延長や繁忙時における提供体制を充実させるための業務に従事する場合等に、原則3年を上限に任用を可能とするものです。

討論

【賛成多数で原案可決】

サービス向上を図れる勤務条件の確立を求め反対(日本共産党)

正規職員を非正規職員にすれば、行政の質や市民サービスの低下となり、体制を脆弱にします。

嘱託職員や臨時職員を正規職員とし、専門的な知識や経験を身に付け、サービスが向上する体制を確立する必要があり。恒常的な業務を担う職員を、任期付きにする合理性はありません。雇用不安を解決する責務を持つ行政が行うことではなく反対します。

専門知識、経験等を有する者の活用を可能とする制度であり賛成(新政の会)

新たな制度の導入により、

複雑かつ高度化する行政課題や緊急の課題に対して、速やかな対応が可能となり、サービスの充実が期待されます。

従来の嘱託職員制度も、雇用の安定や給与面等の改善が図られ、任用される職員にもメリットが考えられます。

実施に当たり、必要性とメリットを十分に精査して、制度運用を行っていくことを要望し、賛成します。

指定管理者の指定を可決(春日部第1児童センター)

平成22年4月1日から、春日部第1児童センター(エンゼル・ドーム)の管理運営に、指定管理者制度を導入するため、指定管理者の指定を行うものです。

候補者の選定に当たっては、公設児童センターとしての適正な施設管理、サービスの向上、安定した管理運営が実施できるとの理由により、「株式会社こどもの森」を指定管理者の候補者としてしました。

なお、指定期間は、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間とするものです。

【賛成多数で原案可決】

討論

子どもにかかわる福祉については市が責任を持って直営で行うべきであり反対(無所属)

エンゼルドームは、子どもの健全な心身の発達を図る児童センターとして、また子育て中の保護者への子育て支援の拠点として、市民の評判も良く、利用者も多い施設です。

主な利用者は、乳幼児から小中学生であり、事故等が起らないように常に細心の注意をもって、安心で安全な施設運営に努めなければなりません。また、市の将来を担う子どもたちを、心身ともに健康で安全に育てる児童福祉施設であり、これを指定管理にして民間に委ねることとしては、児童福祉の本質を逸脱するものと考え、反対します。

利用者本位の柔軟なサービスの提供や安定した管理運営が見込まれるため賛成(新政の会)

候補者選定委員会において、書類審査や事業計画書に基づくプレゼンテーションを実施し、厳正に審査した結果、「株式会社こどもの森」を候補者にしたということです。

「株式会社こどもの森」は、保育園や学童保育の設置、運営や幼児教育に関する業務等を主な事業としており、現在、戸田市等の公立児童センター5館のほか、公立保育所2カ所の指定管理者の指定を受けている実績があります。また、首都圏を中心に、子育て支援事業を手掛けているため、適正な施設管理が期待できる点を評価し、賛成します。

市が直接運営しサービスの向上を図るべきであり反対(日本共産党)

エンゼルドームは、未来を担う子どもたちに安全で健全な遊び場を提供し、健康を増進し、情操を豊かにすることを目指す重要な施設であり、継続性や安定性、専門性が保たれなければなりません。

指定管理者制度のメリットといわれる経費は、年間127万円も多くなり、開館日数が増えることを考慮しても、削減額は多くありません。営利を目的とした株式会社は、限られた委託料の中から利益を得るためには、人件費等を削らなければならず、働く意欲の低下、サービスの低下が危惧されるため、反対します。

議員提出議案

市議会の議員の定数を定める条例の制定を可決

春日部市議会の議員の定数は、春日部市・庄和町合併協議会における協議をもとに、旧両市町で決定された定数の告示により、これまで36人とされてきました。

議員定数については、市議会として「議員定数等調査研究協議会」を設置し、時間をかけて調査・研究をしてきました。

昨今の大変厳しい経済・財政状況を踏まえ、議会は自らの意思でその身を律していくべきであると考えます。また、多くの市民が大変な思いをしている中で、その民意から離れるようなことがあってはならないと考え、今回、議員の定数を4人削減し、32人と定めるものです。

なお、この定数は、次に実施される市議会議員選挙から適用となります。

【賛成多数で原案可決】

討論

**相談事に親身に応え
住民の声を締め出さない
ために反対(日本共産党)**

議員定数は、議会の根幹となる重要事項であり、議会制民主主義と民意の反映のため、慎重に扱う必要があります。

議員の仕事は、住民の声を代弁し、要求の実現のために質疑や一般質問、討論等を積極的に言い、まちづくりのために奮闘することと考えます。

また、住民の立場で税金の使われ方等をチェックをすることや、住民の相談事に応え悩みや心配事の解決に取り組むことも重要です。

合併して4年で、まだまだ一体化できず、国政や県政の選挙区も統一されていません。新市建設計画や地域審議会も10年のスパンが一区切りであり、一体化するには最低でも10年が必要です。

過渡期に当たるこの状況の中で、議員の定数を削減することは、住民の声をくみ上げていく上で、非常に困難です。定数を削減するのではなく、

議員の職務をしっかりと認識し、今まで以上に住民の願いにこたえて奮闘することが重要だと考え、反対します。

**活動に専念し民意を反映し
市民の負託に応えることを
誓い賛成(新政の会)**

要望や請願があると同時に、議会でも協議会を設置し、調査・研究を進めてきました。各議員も会派内で議論し、32人との結論に達して、議案が提出されたことと理解しています。

議員数を減らすことにより、民意の反映が難しくなるとの意見もありました。定数が減れば、当然、議員1人に対する市民の数は増えますが、人口20万人以上の市の状況を平成21年6月1日現在で調べたところ、川口市が1万2339人、越谷市が1万1366人、所沢市が9373人、川越市が8339人、草加市が7905人、上尾市が7453人、春日部市が6682人、熊谷市が5652人でした。定数を36人から32人になると、約7520人であり、さらに削減という気もしますが、合併から4年余りで、過度の減数は市の一体感の醸成が遅れる恐れがあります。

削減と議会活動の質は別問題であり、努力と工夫をもって活動に専念し、市民の負託にこたえようと思ひ賛成します。

削減と議会活動の質は別問題であり、努力と工夫をもって活動に専念し、市民の負託にこたえようと思ひ賛成します。

**自治会長、市長と協力し
住民の声を聴くことを
誓い賛成(春和会)**

定数については、協議会を設置して慎重に審議し、結果が議案の数字に表れています。議員提出で32人、請願も32人で間に合っているとの解釈ができ、すべてが符合します。

4人が削減となり、その分の仕事ができるのか、また、頑張ればできるとの意見もありましたが、人間1人は1人であり、いくら頑張っても1人は1人です。

当市には自治会連合会があり、約2000人の自治会長がいます。一生懸命働いて、住民のまとめ役として無報酬で働いています。議員は、少なくとも45万1000円の報酬をもらっているのです。

4人分の頑張りはできなくても、自治会長と連携を密にして住民の声を聴き、私たちが信頼する現場主義の石川市長と共に力を合わせれば、住民の声を反映できるはずで、32人どころか、1万人に1人の議員でも間に合う議員活動をしていこうと考えます。

この議案に全議員の賛同をお願いし、賛成します。

12月定例会 審議結果

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議案名	()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	春 和 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 主 義	無 所 属
議案第81号	自治基本条例の制定	(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第82号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	(総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第83号	市長等の給料の額の特例に関する条例の制定	(付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第84号	職員の給与に関する条例等の一部改正	(総務)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第85号	水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	(建設)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第86号	病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正	(厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第87号	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	退席
議案第88号	特別職の給与に関する条例の一部改正	(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第89号	教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正	(総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第90号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	(総務)	原案可決	○	○	○	×	○	○

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議 案 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	春 和 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 主 義 党	無 所 属
議案第 91 号	在宅重度心身障害者手当支給条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第 92 号	埼玉県市町村総合事務組合規約の変更 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 93 号	栗橋町外五箇市町水防事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更 (総 務)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 94 号	指定管理者の指定 [春日部第 1 児童センター] (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○ ×1
議案第 95 号	指定管理者の指定 [道の駅「庄和」] (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第 96 号	平成21年度一般会計補正予算 (第 5 号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第 97 号	平成21年度国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第 98 号	平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○ ×1
議案第 99 号	平成21年度介護保険特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第100号	平成21年度下水道事業特別会計補正予算 (第 3 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第101号	平成21年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	×	○
議案第102号	平成21年度水道事業会計補正予算 (第 1 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○ -1	○	○
議案第103号	平成21年度病院事業会計補正予算 (第 1 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第104号	監査委員の選任につき同意を求める [尾堤 信男 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○
議案第105号	公平委員会委員の選任につき同意を求める [柴田 秀 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○
議案第106号	教育委員会委員の選任につき同意を求める [五百木 勉 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○
議案第107号	教育委員会委員の選任につき同意を求める [水沼 章文 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

議第10号議案	市議会の議員の定数を定める条例の制定 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○	○
議第11号議案	東埼玉道路早期整備に関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	×	○	○ ×1
議第12号議案	地域のくらしを守るための国の予算執行及び予算編成を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	×	○ ×1
議第13号議案	さらなる緊急雇用対策の実施を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	×	○
議第14号議案	子宮頸がん撲滅のための施策を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○ ×1
議第15号議案	子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○
議第16号議案	消費税の税率引き上げ反対を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○ -1	○	○	○
議第17号議案	生活保護老齢加算の復活を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	○
議第18号議案	後期高齢者医療制度を直ちに廃止し、老人保健制度に戻すことを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	×	○
議第19号議案	扶養控除廃止をやめることを求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○ -1	○	○	○ ×1
議第20号議案	こども医療費の助成に関する条例の一部改正 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	×	×
議第21号議案	人間ドック補助の再開を求める決議 (付託省略)	原案可決	×	○	○	○	○	○

請 願

請願第 13 号	消費税の税率引き上げ反対を求める意見書の提出を求める請願 (総 務)	採 択	○	○	○	○	○	○
請願第 14 号	春日部市議会議員定数削減を求める請願 (議会運営)	採 択	○	○	○	×	○	○



一般質問

市民の声を市政に

(文責は、各質問者)

一般質問に25人が登壇

政権交代に伴う 春日部市への影響について



中川 朗
議員

新政権による予算編成方針は、子ども手当実現のため、短時間で多くの事業の削減・廃止を簡単に決めていて、賛否の分かれるところでは、多くの国の補正予算に伴う財源で措置されていますが、事業仕分けの影響で執行停止などが出ないよう希望します。

影響があると考える、地方交付税交付金の東埼玉道路建設促進及び春日部駅付近連続立体交差事業や、まちづくり交付金を活用している事業の状況について伺います。

○建設部長

東埼玉道路は現在、測量調査を実施中です。しかし、凍結路線候補と報道されたため国に確認したところ、平成22年度概算予算の要求をしていました。また、沿線市町で構成される東埼玉道路建設促進期成同盟会でも、国、県に対し必要性を訴えます。

まちづくり交付金は、地方に移管とされましたが、現時点では当市に影響が出るという情報はありません。

○鉄道高架担当部長

春日部駅付近連続立体交差事業は、事業評価の厳格化やコスト削減、道路構造令の柔軟化等により、予算の見直しを行うとされました。

影響について県へ確認しましたが、現状は影響が出るかどうか確定できないため、今後の動向に注視していきます。

このほか

○商工行政について

○介護用品の有効活用

豊春地区公民館の お風呂の長期休止について



秋山 文和
議員

豊春地区公民館のお風呂は、建設から21年が経過して、今年10月に壊れてしまい、年度末まで再開ができない事態となりました。

利用者数を確認したところ、平成20年度は1万6000人で、幸楽荘を超え、薬師沼憩いの家に匹敵します。

修理するための休止はやむを得ませんが、その間の臨時の措置として、幸楽荘や寿楽荘、大池・薬師沼の憩いの家へのバスの運行を計画していただけないか伺います。

○福祉健康部長

豊春地区公民館以外で入浴設備のある施設は、幸楽荘、寿楽荘、大池・薬師沼憩いの家の4館があり、29人乗りのバス2台を活用して、幸楽荘・寿楽荘は月6回、大池・薬師沼憩いの家は月2回、市内各地を循環しています。

ほかにも、施設の団体利用の際に、任意の場所から送迎を行っています。第1週、第3週の水曜日、第2週、第4週の金曜日は運行しない日としているため、この日に豊春地区公民館からの臨時運行が可能と考えています。

なお、運行する施設は、年齢要件がなく豊春地区公民館からの移動時間も短い、大池憩いの家が最も適切と考え、1月から3月までの3カ月間に、週1回の運行を検討していきます。

このほか

○庄和図書館の入札・発注
○新・緊急財政健全化計画について

今後の市政運営について



会田 幸一 議員

石川市長は6月定例会の中で、次期市長選挙に出馬する意思があるのかという私の質問に対し、「子育て支援事業などについては一定の成果を挙げてきた自負はありますが、計画段階や着手したばかりの事業も数多くあります。これらの事業は私の責任で完成させ、市民の皆様の要望に応えることこそ、私に与えられた使命であると確信し、心新たな決意と覚悟をもって出馬することを決意しました」と表明され、見事当選されました。

今回の選挙結果は、市民の皆様から4年間の実績を「おおむね良し」と評価していただいた結果ではないかと思えます。今後も基本姿勢を変えないことなく、これまで以上に現場主義を徹底し、きめ細かく市民の皆様の生の声を市政に反映するという姿勢で、市政運営をしていきたいと考えています。

○市長
このほか
○(仮称)まちづくり条例の創設に向けて

市営住宅のバリアフリー化について



富樫 清年 議員

現在、市内には木造平屋建てなどの市営住宅が12カ所あります。これらの住宅は、昭和30年代初期から平成5年までの、さまざまな時代に建てられたものです。住宅の中には、地盤沈下により、玄関の入り口等に段差が生じ、高齢者や障がい者が住みにくくな

っているものもあります。庄和地域の新宿新田などにある簡易耐火構造の2階建て住宅は、非常に狭いスペースに階段が設置されているため、階段を上り下りすることが非常に危険となっています。今年だけでも、階段を踏み外してけがをした人が何人もおり、若い人たちの中でも、この階段はとても怖いと言っている人がいます。高齢者や障がい者にとっては、非常に危険な階段となっているのです。

○都市整備部長
建設当初から、これらの住宅には手すりがありません。階段の傾斜も、やや急であると認識しています。

○市民部長
藤塚橋交差点は、北に一の割駅入口交差点、南に市道2-20号線が隣接しており、また交通量が多く、慢性的に渋滞しています。

このほか
○消火器の安全対策について
○南桜井駅北口駅前及び道路整備について

藤塚橋交差点を一体的交差点にすべき提案



阿部 喜一 議員

国道4号線の下り線から藤塚橋交差点を右折し、藤塚・豊野方面に向かう場合、右折車に対して何の信号もなく危険極まりない。国道4号線の信号が赤になり、当然藤塚橋からの信号が青になり、直進車の前を右折する。しかも、この交差点は一ノ割駅への通勤あるいは通学路でもあり、一ノ割駅に通じる市道6-1125号線、備後東に通じる市道2-20号線、藤塚橋に通じる市道1-10号線、この変則5差路をスクランブル、または一体的交差点に改良することを重大事故の発生前に提案します。

上り車線の混雑もあり、非常に右折が困難です。このため、信号機が赤に変わっても右折車両が進出し、非常に危険です。この交差点の右折の矢印信号の設置については、以前から要望書をいただいで、窓口となる警察署に提出しています。市としても、現地調査をして強く要望していきます。

このほか

○豊野地区の諸問題
○県道春日部松伏線、永沼橋入り口交差点にある案内板を見やすく

○銚子口橋架橋の今後の推移及び考え方及び架橋時期



藤塚橋交差点付近

東武鉄道高架事業を推進して
春日部市のさらなる発展を



石川 勝也 議員

市計画事業の着手に向けて準備を進めています。計画内容は、現在、県が鉄道事業者と共に事業費の縮減と事業期間を短縮するため、工事方法等の見直しを行っており、事業費については精査中です。

春日部市のさらなる発展と市街地の交通渋滞解消のために東武鉄道高架事業促進について伺います。鉄道高架促進事業については埼玉県や国土交通省にご協力をいただきながら取り組んできたわけですが、国土交通省の新しい要綱の目的に、都市における道路と鉄道の連続立体交差化に關し、事業の施行方法とともに事業費負担割合など必要な事項を定めることにより、連続立体交差化を促進して都市交通の安全性の向上と円滑化を図り、都市の健全なる発展に寄与するとあります。

これまでの経過と実績を伺います。また、現在の計画内容と事業費や負担率は、どのようになっているのか伺います。

○鉄道高架担当部長

平成17年度に事業主体である県が、国の着工準備採択を受けて調査・検討を行い、都

市長マニフェストの中から



山崎 進 議員

武里内牧線と国道4号線を結ぶ大場大枝線（県道野田岩槻線の一部）は昭和39年に計画されましたが、数年前からようやく動き出した事業です。

この事業が完成すると、武里駅南側の踏切等の渋滞が解消するため、一日も早い整備が望まれています。土地の買収も地域の地権者の協力で28%まで進んでいると聞いていますが、この事業は計画通りに進んでいるのか伺います。

また、石川市長は日本一子育てしやすいまちの推進と商都の復活により、人が集う元気なまちづくりを公約にしてくださいましたが、商都復活のために、これまでどのような事業を行ってきたのか伺います。

○建設部長

埼玉県によると、平成20年度末現在の進捗率は、約28%と聞いています。

完成予定については、用地の取得状況を見ながら引き続き

き県と連携を図り、早期の完成を目指し事業を推進していきたいと考えています。

○市長

本市の商都復活に向け、この4年の間に産業振興や商店街の活性化など、さまざまな取り組みを行ってまいりました。今後も困難な財政状況ではありますが、これまで進めてきた諸施策を継続しつつ、市民の皆様が幸せに暮らせる商都の復活を目指し、諸施策を推進してまいります。

このほか

○下水道事業について
○財政について

女性特有の
がん対策について



五十嵐みどり 議員

受診者数が少ないことから、さらなる周知が必要であると考えています。提案いただいた方法なども含めて、今後、できるだけ多くの対象者に受診していただけるよう努力したいと考えています。

国では女性特有のがんである乳がん、子宮頸がん検診のため、定められた年齢の女性に無料で受診できるクーポンの配布を決め、春日部市は県内でも早い段階で、この事業がスタートしました。平成19年度の春日部市の受診率は、乳がん検診8・7%、子宮が

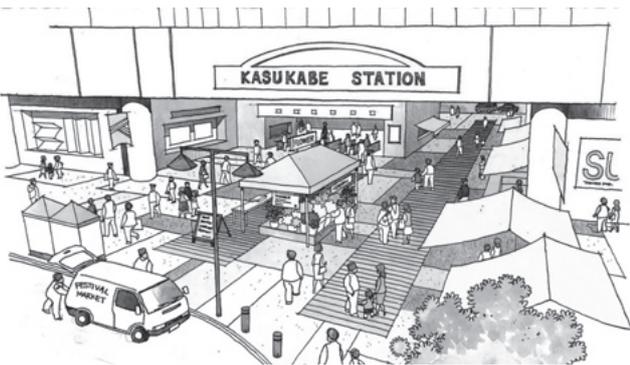
ん検診10・4%です。対象者すべてが受診するための対策として、ポスターやチラシを置いたり、回覧板を回したり、安心安全メールを利用するなど、検診の大切さを知らせる方策を実施していただきたいが、市の考えを伺います。

○健康保険担当部長

また、個別の乳がん検診の補助ですが、個別乳がん検診を実施できるマンモグラフィを整備した医療機関が、市内に5医療機関しかないことから、個別検診への補助については医師会と十分な調整等が必要であると考えています。

このほか

○乳幼児・高齢者のためのワクチン接種の公費助成を
○脳検診の受診に公費助成を



**居宅介護の際の住宅修繕費用
及び介護用品購入費用を
受領委任払い制度に**



栗原 信司 議員

家で介護をする際に、利用者及びその家族の負担を軽くするために、家の中に手すりをつけるなどの改修費に対して、春日部市は償還払い制度を用いており、一時的に多額の現金を支払わなければなりません。

高齢化が進む中で、介護サービスを受ける利用者も急増しており、越谷、草加、吉川、川口市などのように、春日部市でも受領委任払い制度を導入すべきではないでしょうか。そこで、受領委任払い制度の導入について伺います。

健康保険担当部長

本市においては、介護保険給付制度の手続き方法である「領収書を添付して償還払いを行う」ことを原則として、保険給付を行っています。しかし、償還払いが原則であるものの、要介護者が一時的にまとまった費用が必要となり、日常生活への自立の妨げ

や介護負担が大きくなるのではないかと考えられます。このようなことから、費用負担の大きい住宅改修の受領委任払い制度について、既に実施している近隣市の状況等を参考にしながら、来年度に向けて導入できるような準備を進めたいと考えています。

このほか
○パークゴルフ場の設置及び多目的広場の設置を
○AEDのバッテリーメンテナンス等、稼働確認対策
○交通安全対策について
○ワンストップサービスと自動交付機の増設について

デイケア施設の工賃収入を増やす努力を



福田 晃子 議員

障がい者が生きていく上で不可欠な福祉サービスや医療に、負担を求めると自体が福祉の理念に反します。障害者自立支援法の廃止と、憲法や国連障害者権利条約に基づく総合的な福祉法制の確立を急げと国に働き掛けるべきと考えますが、見解を求めます。

また、市内には公立の心身障害者地域デイケア施設が4施設あります。社会参加に必要な自立訓練、生活訓練及び授産活動の場を提供する施設です。施設の充実のため、次の4点を提案します。

- ① 特別支援学校で習得した技術が生かされるよう自主製品の製作や、工賃収入を増やす努力。
- ② 販売活動の充実。
- ③ 福祉イベントの宣伝の充実。
- ④ 継続した指導、行き届いた指導を行うために正規職員を増やす等、職員体制の充実。

福祉健康部長

通所者個々の作業能力等を十分発揮できるような自主製品製作の指導に努めるとともに、販売ルート等の開拓を行い、安定した工賃の確保ができるよう努力します。イベントの周知は、市のホームページや広報等への掲載を含め方法を検討します。職員体制は県要綱の基準を満たしており、さらに施設の状況に応じて臨時職員を加配しています。

市長

障害者自立支援法については、国の動向を注視していきたいと考えています。
このほか
○敬老会の充実を

**東中野にある一般廃棄物
最終処分場の今後について**



川鍋 秀雄 議員

最終処分場の整備に際して、当時の埼玉清掃組合と地元区・自治会とで協定書が締結され、跡地利用として地域還元施設を設置することが盛り込まれていると伺っています。

その後、財政状況の悪化等の理由により、進展がなく、平成20年に東中野埋立地連絡協議会長から地域還元施設に関する要望書が提出され、具体化に向けて協議が行われていますが、市はどのように考えているのか伺います。

環境経済部長

住民の要望施設である地域還元施設については、現在まで建設には至っていません。地域還元施設の素案などを東中野埋立地連絡協議会で検討し、他の地域の住民にも理解が得られる施設として協議を進めています。

今後は、引き続き東中野埋立地連絡協議会と協議を重ね、計画の具体化に向けて鋭意努力したいと考えています。

市長

東中野地内の一般廃棄物最終処分場に係る地域還元施設の整備については、当時の状況や、これまでの経緯を十分踏まえつつ、できる限り早期に対応していきたいと考えています。

このほか

- コミュニティバス(春バス)の運行状況と今後の課題
- 庄和総合支所のさらなる活用について



一般廃棄物最終処分場(東中野)

市と共栄大学との 連携協力について



也 幹 議員
武

春日部市と共栄大学・共栄学園短期大学は、平成19年5月24日に包括的連携協定を締結し、現在、さまざまな連携事業が実施されています。

新たな事業として、共栄大学等のスクールバスを利用し、北春日部駅・共栄大学間に、学生とともに地域の高齢者を同乗させる事業、及び共栄大学等の学生を、現在の通学交通費程度で市内の商店や農家、高齢者世帯等に下宿してもらう事業を提案しますが、市の考えを伺います。

○都市整備部長

スクールバスへの同乗は、道路運送法上の混乗に当たり、利用者や行政等からの金品の収受は禁じられているため、大学側の厚意の範囲で利用することになります。大学からは今後協力していきたいとの話を受けていますが、市が主体となり対応することは難しいと判断しています。今後は、

利用方法や事故対応方法等について、地域の自主的かつ主体的な活動において検討、協議を行っていただき、地域の合意形成が図られ、実施できるよう期待したいと思います。

○総合政策部長

学生たちが市内をフィールドとして、まちづくりに参加していただくことはありがたいのですが、市が下宿を仲介することは難しいと考えます。

このほか

○クレヨンしんちゃん一家の記念表彰について

○市表彰特別賞について

○エコ照明について

今こそ、中小業者 支援施策の充実を



浩一 議員
松本

深刻な経済危機の今こそ、行政が市内中小業者に支援の手を差し伸べることが必要です。緊急に次の施策の充実を図ることについて伺います。

①市の制度融資で、信用保証法の規定にない軽自動車税や国保税の完納を融資要件から外す。②既に県内22自治体

で実施している、住宅リフォーム助成制度の実施。③今年6月実施のプレミアム付商品券を再度実施。④市内中小業者の実態調査の実施。⑤小規模契約希望者登録制度を広く知らせ、限度額を引き上げる。⑥全国で初めて野田市が制定した公契約条例を制定する。

○環境経済部長

利子等の補助は市税を財源としているため、融資要件に市税の完納を必須としています。住宅リフォーム助成制度は、経済効果が特定業種に限定される等、公平性の観点から導入は困難です。プレミアム付商品券は、集計結果を分析し、結果等を踏まえて研究します。市内中小業者実態調査の実施は、今後研究します。

○総務部長

小規模契約希望者登録制度は、十分なPRに努めます。現状では、限度額の引き上げの必要性は低いと考えています。公契約条例は、今後も継続して調査・研究します。

このほか

○9月議会請願で採択のとおり「少人数学級」の実施を

○営業や生活の実態に即した、きめ細やかな納税相談を行い、徴税強要はしないこと

校舎・体育館の維持管理 改修・建て替えについて



彦 武 議員
卯月

10月15日に幸松小学校南校舎で外壁の一部が落下する事故が発生しました。幸い、児童等に被害はなかったということです。市内の学校では、これまでも東中学校で大規模に外壁が落下する等、何度か同様の事故が発生しています。これまでは人的な被害はありませんでしたが、このような事故が続けば、いつか重大な事故につながるのではないかと大変心配しています。

そこで、校舎の安全点検の実施状況を伺います。また、現在行っている東中学校建て替え後は、老朽化した幸松小学校の建て替えに着手すべきと考えます。

○学校教育部長

学校施設はいずれも老朽化しており、維持管理、修繕に苦慮しています。安全性の点検は、専門業者による定期的な法定点検等を年1回から2回、施設管理者による定期点

検を随時、施設課職員による一斉点検を年度当初に1回のほか、他校の事例による特定項目の点検を随時実施しています。また、今回の事故を受け、改めて校長会に点検をお願いしました。これを教訓に、さらに学校と一体となった点検を実施し、安心、安全の確保に努めます。

校舎の改築は、現在、全校の耐震補強、石綿対策を最優先に年次的に進めており、幸松小学校についても耐震補強で対応したいと考えています。

このほか

○保育所の充実を



幸松小学校

春日部情報発信館について



岩谷 一弘 議員

春日部駅東口に開設が決まった春日部情報発信館、愛称「ぶらっとかすかべ」に対する市民の期待は大きいと感じており、以下質問します。

- ①設置目的と効果
- ②場所選定の経緯と業務内容
- ③地元商店会との連携

○総合政策部長

行政情報ばかりではなく、観光情報、商店街の情報等、市民や来訪者の方々が必要とする情報を発信する基地としたいと考えています。それにより集客効果を高め、本市のイメージアップを図り、知名度を高めるとともに交流人口を増加させ、地域の活性化を図ることを目的としています。

空き店舗の活用を前提として、1階部分が活用でき、できるだけ駅から近く、多くの人通りがある場所を選定しました。業務内容は、観光情報、イベント情報、タウン情報、市政情報等、各種情報の案内



春日部情報発信館（物産コーナー）

です。さらに情報の収集・提供、来街者の方々への休憩場所の提供や観光ボランティアの方々によるガイドの実施等、さまざまなことを行っていきたいと考えています。

地元商店会とは、休館日について協議しました。また、今回スタート時点では物販を想定していませんでしたが、強いアドバイスをいただき地元の特産品を並べることにしました。今後とも地元の方々と連携を図ってまいります。

このほか

- 新・緊急財政健全化計画
- ITシステム再構築

春日部市のPRについて



鬼丸 裕史 議員

クレヨンしんちゃんは、今年度から市の子育て応援キャラクターとして活用が始まり、広く市民にも定着してきており、市を代表するキャラクターとなつていきます。来年度の活用について、引き続きどのような展開を考えているのか伺います。また、春日部駅東口にオープンした情報発信館における、しんちゃんを活用についても伺います。

一方、市の特産品をモチーフにした「はごっこ・キリたん・ハッピー・ばっこ」や、「ふじたこくん」についても、まずは定着させることが重要ですが今後の考えを伺います。

さらに、しんちゃんや春日部出身の芸能人を観光大使に起用し、効果的に市を内外にPRすることに對する考えを伺います。

○総合政策部長

クレヨンしんちゃんについては、来年度も子育て応援キ

ャクターを基本としつつ、合併5周年事業の一環として活用できるよう、版權元と協議してまいります。情報発信館では、しんちゃんの書籍・ポスター等を置いていますが、今後さらに充実してまいります。また、ご当地キャラクターの活用については、管理している各種団体とイベントでの活用の方法を協議します。

観光大使については、大変有効なPR手段ですが、まずは市の情報発信に努めます。

このほか

- 都市計画マスタープランについて

地域公共交通再編計画について



片山いく子 議員

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、国の支援が受けられる協議会を立ち上げるよう求めましたが、既に協議会を設立したと伺いました。

そこで、この協議会のもとで、公共交通の再編計画はどのように進めるのか伺います。

また、現在、オンデマンド交通は、そのシステムが急速に進歩し、システム導入が安価になったことや、予約から運行までの手続きが容易になっていること、この法律によって実証実験に対する支援も得られることから、取り組む自治体が増えていきます。

この再編計画の中では、オンデマンド交通についても検討するの伺います。

○都市整備部長

市では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく協議会を設立し、10月29日に第1回の協議会を開催しました。

今後、この協議会のもとで、市民、交通事業者、行政等が連携しながら、総合的な公共交通網の充実を目指した、地域公共交通総合連携計画の策定を図ります。

春バスの第2次の運行計画は、この計画の一部として位置付けていきます。

また、オンデマンドバス等の、さまざまな公共交通のあり方についても、この計画を策定する過程で検討します。

このほか

- 新・緊急財政健全化計画
- 武里団地について

一ノ割駅周辺の まちづくりについて



滝澤 英明 議員

一ノ割駅周辺のまちづくりについては、昨年の3月議会では取り上げ、駅周辺の皆様と勉強会等を行い、地元住民主体のまちづくりや民間の活力を生かしたまちづくり等を通して、これからの時代に合った一ノ割駅周辺のまちづくり構想を進めていくとの答弁をいただきました。この1年間における一ノ割駅周辺のまちづくり構想の経過を伺います。

また、一ノ割駅は、乗降客数が春日部駅に次いで2番目に多い駅であるにもかかわらず、改札口は1カ所しかなく、駅前広場や周辺道路も整備されていないため、とても不便な状況です。そこで、平成20年度に創設された、地域まちづくりモデル支援事業を活用して、まちづくりを進めることができないか伺います。

○都市整備部長

過去に作成した一ノ割駅周辺まちづくり構想の事業資料



一ノ割駅前

等を精査しながら、現状に即した手法を検討しているところです。そのため、地元主体での勉強会等の立ち上げまでには至っていません。

地域まちづくりモデル支援事業については、補助金の交付要件に該当する自主的なまちづくり活動を行う団体が組織されれば、本制度を活用し、市として支援したいと考えています。今後は、勉強会等を立ち上げられるよう、まちづくりの機運を高め、構想を構築したいと考えています。

このほか

○市の保健衛生施策について

石川市長の マニフェストについて



白土 幸仁 議員

石川市長のマニフェストの中の、日本一帰るとホッとする街については、春日部市への郷土愛を醸成し、市民の願いに合った目標であると評価します。その中の私の駅づくりにという施策では、それぞれの駅とその周辺が特色を持ち、帰るとホッとす癒しの駅の創造とありますが、市長が考えている具体的なイメージを伺います。また、市として私の駅づくりをしたいのだという熱い思いを各駅長さんに伝えるために、現場主義の市長として、ぜひ電車に乗って各駅にごあいさつに行ってくださいと思います。

○市長

さらに、日本一いきいきと老後を過ごせる街の中の、民間キャリアを生かして市政を手助けしていただくシンクタンクの構築という施策についての具体的展開についても伺います。

私の駅づくりですが、今後はそれぞれの駅の性格に応じて、ハード面については駅前広場や駅前通り等の整備を、現在事業中の春日部駅、南桜井駅から進めたいと考えています。そのほかの駅については、周辺の商店街との連携により、ソフト面での演出ができませんか検討してまいります。市民のキャリアを生かしたシンクタンクについては、知恵や技術を生かし、市政のさまざまな場面でお手伝いをいただける頭脳集団、実動集団としてのシンクタンクを作りたいと考えています。

新型インフルエンザ等の 対応について



阿部真理子 議員

新型インフルエンザの累計患者数は1000万人を超え、冬を迎え流行が本格的になるのを危惧しています。特に、小児感染が多い中、休日当番医や小児救急平日夜間診療部の受診状況を伺います。

また、年末年始、新型インフルエンザを疑う発熱患者の

受診が増えた場合、当番医を増やすなどの充実を図る考えがあるか伺います。

次に、県内12市で独自に新型インフルエンザワクチンの接種費用を補助しています。

子育て日本一や、日本一老後をいきいきと過ごせる街を公約にしている市長は、子どもや高齢者に対し、独自に補助する考えがあるか伺います。

○健康保険担当部長

休日当番医や小児救急平日夜間診療部の患者数は、昨年に比べほぼ2倍であり、新型インフルエンザの流行による患者の増加と考えられます。

現在も当番医の協力により、時間延長などで患者数の増加に対応していますが、さらに患者が増えた場合は、医師会と調整してまいります。

○市長

新型インフルエンザワクチンの接種については、低所得者の方に全額補助することにしていますので、さらなる補助は考えていません。

このほか

○国民健康保険特別会計の財政状況について

○庄和総合支所の施設整備における防犯対策について

○市民窓口サービス向上

安全対策及び 学校施設について



小島 文男
議員

安全対策について、現在、広域農道は、非常に過密な道路になっていきます。管理している市が安全対策をすべきと思いますが、いかがでしょうか。

また、通学路にもなっている市道7-139号線は、歩道もなく、県道西宝珠花春日部線のY字型交差点など非常に危険です。道路整備についての考えを伺います。

次に、学校施設について、東中学校は老朽化に伴い改築されますが、市内のほかの中学校も老朽化しており、大きな問題になる前に、校舎の再建築を検討すべきと思います。そこで、学校施設の環境整備について、市の考えを伺います。

建設部長

広域農道の安全対策は、農道保全対策事業として、主体となつている埼玉県農林部へ、早期に事業化されるよう、引

き続き要望してまいります。また、市道7-139号線の安全対策は、歩道の必要性を認識しており、用地の確保等について、地域の方々の意見をお聞きしながら、整備について相談をしてまいります。

教育長

学校施設の老朽化については、日常の点検と修理を徹底し、耐震検査等を行っていきます。

今後とも、子どもの安全を第一に考えてまいります。

このほか

○土地利用について
○公有財産について

春バスの運行状況について



山口 健
議員

高齢化社会である現在、病院や市役所等への交通手段が目立って少ない状況が豊春地区です。そのため、高齢者の方から春バスの運行を望む声が多数寄せられております。24万市民の交通である春バスの運行については、それぞれの地区を満遍なく運行する

ことよって、地域に参加することもできるのではないのでしょうか。市内全域の春バスの運行ルートの開発、そして、市民の声に基づいてコースの検討、並びに今後の春バスの運行に向けて、どのように進めいくのか伺います。

都市整備部長

市では今年10月29日に、春バスの運行を含めた市内公共交通網の充実を図るため、春日部市地域公共交通活性化協議会を設立しました。

今後、豊春地区の春バスの運行については、現状における道路幅員や交通量などの道路環境、運行における安全性の確保、また、路線バス業者との競合を避けるなど、さまざまな課題があります。現状を十分に調査し、協議会において協議を重ね、検討してまいります。

このほか

○水道水の鑄鉄管への交換工事について
○都市計画道路上野長宮線推進について

○南中曾根、市道2-30号線交差点の信号設置の件

○小・中学校生徒のいじめ等の発生の状況は

○飲食店等火災発生時の対策は

「救急医療情報キット」の 配布事業と「わんわん 消防隊」の導入について



大山 利夫
議員

「救急医療情報キット」は、救急隊員が駆け付けた際に、本人との意思疎通が難しくても、キットの中にある医療情報をもとに、迅速かつ適切な救急処置ができるものです。

キットの中には、持病、緊急連絡先、薬剤情報提供書、保険証と診察券の写し、本人写真等を入れ、どこの家庭にでもある冷蔵庫に保管しておき、それを表すステッカーを表示しておくものです。このキットの配布事業は、大変有効だと思えますが見解を伺います。また、愛犬家が犬の散歩に合わせて火災等の警戒に当たる「わんわん消防隊」の当市への導入を提案します。

消防長

救急医療情報キットについては、救急の際に、より良い情報の享受が可能のため、訓練指導会場や救命講習会等の機会をとらえてPRします。

また、配布については、関

係部署と協議し、前向きに取り組みます。わんわん消防隊は、今後の動向を見守ります。

このほか

○日本工業大学との「包括的連携協定の締結」を提案する
○「公契約条例」について
○「障害者の雇用の促進等と就労の支援に関する条例」について

○「子ども司書」認定制度の導入と「家読（うちどく）運動」を提案するについて

○豊野町1丁目の「豊野町第2公園」にトイレの設置を

○故土屋前知事、三枝前市長、人間国宝増村氏を名誉市民に



救急情報シート
(かかりつけ医や持病などを記入)
※港区のホームページから転載しています

小口福祉貸付金の増額を



村松 君子 議員

小口福祉貸付金制度は、緊急に生活に困っている人に対して、社会福祉協議会が窓口になって貸し付けを行っているものです。年間貸付件数146件のうち、生活保護申請者の割合は90%以上を占めており、生活保護を申請してから実際に入金するまでの約1カ月を、この貸付金に頼って生活をする人がほとんどです。県内市での小口福祉貸付金の限度額は、3万円が10市、5万円が16市、10万円が4市となっていて、当市の2万円というのは1市のみで、県内最低です。子どもが4人いる合計5人の母子世帯の実際例では、複数家庭ということでは3万円を受け取りました。3万円、約1カ月暮らせると思われますか。市長は日本一幸せに暮らせる街と言いますが、それは市民一人一人が幸せに暮らせる街ということではないですか。この5人が生

活できる金額と思いますか。増額をできないか伺います。

○市長

日本一幸せに暮らせる街については、すべての市民を対象に考えています。

生活保護は最後のセーフティネットであり、申請に基づき開始決定がされて受給になると認識しています。

社会福祉協議会の貸付事業については、団体独自の事業と認識しています。

このほか

○介護保険の充実
○がん検診の充実と人間ドック補助復活を

事業仕分けと春日部市財政に与える影響について



蛭間 靖造 議員

先月、政府の行政刷新会議において、事業仕分けが実施されました。仕分けの対象となった事業には、道路や公園整備などを後押しする国土交通省のまちづくり関連事業や、総務省所管の地方交付税など、地方自治体に直接影響を与えらると思われる事業が含まれて

いました。そこで、特に影響を与えそうな内容について伺います。

また、現在作業を行っている平成22年度予算編成に向けて、どのように反映するのか伺います。

○財務担当部長

市の財政への影響は、間接的に影響が出てくるものなど、細かく把握するには難しい状況です。その中で特に影響があるものとして、地方交付税交付金、まちづくり関連事業、道路整備事業等が挙げられます。具体的にまちづくり関連事業では、藤塚米島線整備事業や南桜井駅周辺事業の進捗状況に影響が与えらるかと考えています。道路整備事業では、春日部駅付近連続立体交差事業や、東埼玉道路の建設に影響を与えらるかと考えられます。

また、事業仕分けされた内容について、今後の国の動きに注意を払い、その結果をよく精査した上で、平成22年度予算編成に慎重に取り組みでまいります。

このほか

○バス路線の拡充について
○最勝院の丁字路に信号機の設置について
○栄町二丁目の水害について

今定例会の日程

11月27日

開会、公有財産有効活用検討特別委員長報告、公有財産有効活用検討特別委員会

の終結、議案第81号から議案第103号までの上程・

説明、議案第104号から議案第107号までの上程

・説明・質疑・討論・採決、議案第83号並びに議案第84号及び議案第87号から議案

第89号までに対する質疑、総務委員会、常任委員長報告とそれに対する質疑、議

案第83号並びに議案第84号及び議案第87号から議案第89号までに対する討論・採

決

12月1日

議案に対する質疑

12月3日

常任委員会

12月4日

議会運営委員会

12月7・8・10・14・15日

一般質問

12月17日

各常任委員長並びに議会運営委員長報告とそれに対する質疑、各議案並びに請願に対する討論・採決、議員

閉会中の委員会活動

提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

▽総務委員会

10月20～22日

・行政視察：姫路市（消防・防災体制について）、神戸市（市民サービスの向上について）、多治見市（健全な財政に関する条例について）

▽厚生福祉委員会

10月21～23日

・行政視察：久留米市（病児保育デイサービスについて）、大牟田市（市立総合病院について）、北九州市（健康づくり施策について）

▽建設委員会

10月21～23日

・行政視察：高知市（公共下水道事業〈雨污水整備〉について）、小松島市（下水道浸水被害軽減総合事業について）、阿南市（公共下水道事業〈浸水対策〉について）

▽教育環境委員会

10月21～23日

・行政視察：旭川市（旭川市科学館サイパル）、名寄市（地産地消の取り組みに



- ついで)、稚内市(都市再生プロジェクトについて)
- ▽公有財産有効活用検討特別委員会
- 10月29日
- ・報告書について
- ▽議会運営委員会
- 11月10日～12日
- ・行政視察：山形市(予算決算特別委員会について)、米沢市(一問一答方式について)、会津若松市(議会基本条例について)
- 11月20日
- ・平成21年12月定例会運営について
- ▽図書室運営委員会
- 1月7日
- ・図書申し込みについて
- ▽議会だより編集委員会
- 12月18日
- ・議会だより第18号の発行について
- 1月7日
- ・議会だより第18号の発行について

常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



厚生福祉委員会 (大牟田市にて)
◎阿部 喜一 ○滝澤 英明 村松 君子
阿部真理子 福田 晃子 川鍋 秀雄
山崎 進 鳴島 武 栗原 信司



総務委員会 (姫路市にて)
◎内国 勝康 ○岩谷 一弘 秋山 文和
榮 康次郎 蛭間 靖造 片山 いく子
会田 幸一 五十嵐 ひとり



教育環境委員会 (旭川市にて)
◎富樫 清年 ○松本 浩一 白土 幸仁
竹ノ内正元 山回 保 石川 勝也
中川 朗



建設委員会 (小松島市にて)
◎武 幹也 ○鈴木 保 鬼丸 裕史
卯月 武彦 河井 美久 野口 浩昭
小島 文男 大山 利夫

寄附禁止のルール

- 政治家の寄附は禁止！
- 有権者が政治家に
寄附を求めることも禁止！

例えば、こんなことは禁止されています

- お歳暮やお年賀など
- 会費制でない会合での支払い
- お祭りの際などに寄附や差し入れを求めること
- 町内会の集会や旅行会などの催物への寸志や
飲食物などの提供
- 入学祝・卒業祝
- 病気見舞い
- 落成式・開店祝いや葬式の花輪・供花
- 結婚祝、香典(政治家本人が出席しない場合は罰則の対象)
- 選挙区内の人への年賀状や暑中見舞い

- 第3号
市公的審議会等への宅地建物取引業者の登用、及び固定資産税・都市計画税の軽減に関する陳情
- 第4号
代替地及び都市計画道路用地取得業務の宅地建物取引業者への民間委託、及び開発許可基準等の緩和による区域指定の拡大に関する陳情
- 第5号
農業振興地域における農用地区域の除外申請受付事務処理の迅速化に関する陳情

陳
情

次の定例会は 2月22日(月) 開会予定です

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場して下さい。傍聴席は56席(車いす傍聴席2席含む)です。
本会議は、通常午前10時から開催されます。

○議員の失職
10月11日付で、小久保博史議員は、選挙立候補届出により失職となりました。

お知らせ

公有財産有効活用検討 特別委員会最終報告

公有財産の適正な管理及び処分に関する方向性を明確にし、その有効活用の方策について調査・検討を行うことを目的に、平成21年3月に設置された公有財産有効活用検討特別委員会における審査が終了し、平成21年12月定例会で最終報告が行われました。

特別委員会は、議員11人を委員として、平成21年3月から10回の会議を開催してきました。

特別委員会では、委員会に付託された公有財産の有効活用に係る総合対策について、さまざまな視点からの意見が出されました。それらを踏まえ、次のとおり調査結果をまとめました。

- ①道路造成時の残地等、面積が小さい土地は、隣地の方への売却等により整理する。
- ②共同墓地以外の墓地については、使用者である個人や寺院への譲渡等により整理する。
- ③用途が決定している土地であつても、その使用目的を再度確認し、使用目的を明確にする。

※正・副委員長から
正・副議長に報告書を提出



※正・副委員長から
正・副議長に報告書を提出

- ④使用目的がはっきりしている土地については、その使用目的を表示した看板等を当該土地に設置する。
 - ⑤使用目的がはっきりしている土地であつても、橋の建設等、事業の実施までに期間がかかるものについては暫定利用を行う。
 - ⑥はつきりとした使用目的がない土地については、売却や貸し付け等により整理する。
- 今後、本報告を基に、本市における公有財産を有効的に活用するよう要望しました。

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
11/27	5	上程・説明
12/1	7	質 疑
7	17	一般質問
8	20	一般質問
10	47	一般質問
14	25	一般質問
15	31	一般質問
17	72	討論・採決
合計	224	

傍聴して一言

初めて議会を傍聴しました。私語が気になりました。質問に対して一つ一つ細かく答えられていると思いました。機会があればまた来たいと思います。

女性42歳

同じ質問を何人もするのは時間の無駄。1人1質問、重ならないように調整すべきと思います。答える側、聞く側どちらも時間の無駄。内容の濃いQ&Aにして下さい。

女性60歳

越谷市から来ました。越谷とは議会の質問の仕方が異なっていて興味を引きました。

男性38歳

議会は当該市の現状を表すと言えるところですが、世の中の困った状況からすると、当議会は内的な人事、厚生面の問題点ばかりが目立ち、差し迫った緊張感が見受けられず、少々心配になりました。

質問者とそれ以外の議員との態度に大きな隔たりがあり、若干の違和感も覚えました。若干の違和感も覚えました。市民生活の切迫感をもっと再確認していただけるよう、祈るような気持ちになりました。

男性54歳

久しぶりに傍聴しに来ました。傍聴者が思ったより少ないと思いました。

答弁や質問中の私語はまずいと思います。

市の進む方向、取り組みが聞け、良かったと思います。市を担う大切な子どもたちにとって最高の環境を目指して頑張ってほしいと思います。

女性59歳

※割愛させていただいた部分もあります。

編集後記

年が明けて早1カ月が過ぎます。今年(寅年)ですが、寅の字は、春が来て草木の発生する状態を表し、物事が進みやすく積極的に行動すると吉だと言われています。

私たち議員も、今まで以上に積極的に行動を展開し、市民の皆様が安心して生活できる春日部市となるよう、全力で取り組みますので、よろしくお願いします。

議会だより編集委員会

- 委員長 村松 君子
- 副委員長 鬼丸 裕史
- 委員 岩谷 一弘
- 委員 滝澤 英明
- 委員 片山いく子
- 委員 石川 勝也
- 委員 阿部 喜一
- 委員 栗原 信司
- 委員 大山 利夫
- オブザーバー
- 議長 河井 美久
- 副議長 鳴島 武

〒344-8577

埼玉県春日部市中央6丁目2番地

春日部市議会

TEL048-736-1111(代表)

内線3116